



沖縄復帰50周年

復帰50周年記念 女性活躍推進

シンポジウム ～一人ひとりが 輝く未来へ～

2022年12月20日 (火)
18:00～20:30
(17:00開場)

琉球新報ホール

問い合わせ先
沖縄県女性力・平和推進課
TEL 098-866-2500



沖縄県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



プログラム① / 基調講演

「海外からみる日本のジェンダー平等」



講演者 中満 泉 *Izumi Nakamitsu*

国連事務次長・軍縮担当上級代表(2017年5月～)

Profile

16年～17年難民・移民サミットのフォローアップに関する特別顧問代行。14年～17年国連開発計画(UNDP)危機対応局局長・国連事務次長補。12年～14年国連平和維持(PKO)局アジア・中東上級部長。早稲田大学法学部卒業。米ジョージタウン大大学院修士課程卒業(国際関係論)。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)法務官、人事政策担当官、旧ユーゴスラビア・サラエボ、モスタル事務所長、旧ユーゴ国連事務総長特別代表上級補佐官、UNHCR副高等弁務官特別補佐官、International IDEA(国際民主化支援機構)官房長、企画調整局長などを歴任。2女の母。

プログラム② / パネルディスカッション

「ジェンダー平等に向けて～沖縄からできること～」

モデレーター



喜納 育江

琉球大学
国際地域創造学部教授

パネリスト



大崎 麻子

ジェンダー・スペシャリスト
特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事



平良 いずみ

沖縄テレビ放送
キャスター



玉城 絵美

H2L, Inc., CEO
琉球大学工学部教授

司会



狩俣 倫太郎

琉球放送
アナウンス室長

復帰からこれまで、そして未来へ

首里城図柄入りナンバープレート

県民人気投票

沖縄を走る首里城ナンバープレートを
みんなで決めよう!!

投票
期間

2022.
10/14(金)~
11/3(木・祝)



(投票条件)

- ・県内在住者
- ・投票は一人一回

(投票方法)

- ・オンライン投票
- ・県庁、本島内一部商業施設に
投票箱設置

(投票期間)

- ・10/14~11/3
- ※投票箱は期間限定

(投票件数)

12,625件

最優秀賞(最多得票／4,888票獲得)

いとう せいな

伊藤 聖菜さん 那覇市内在住



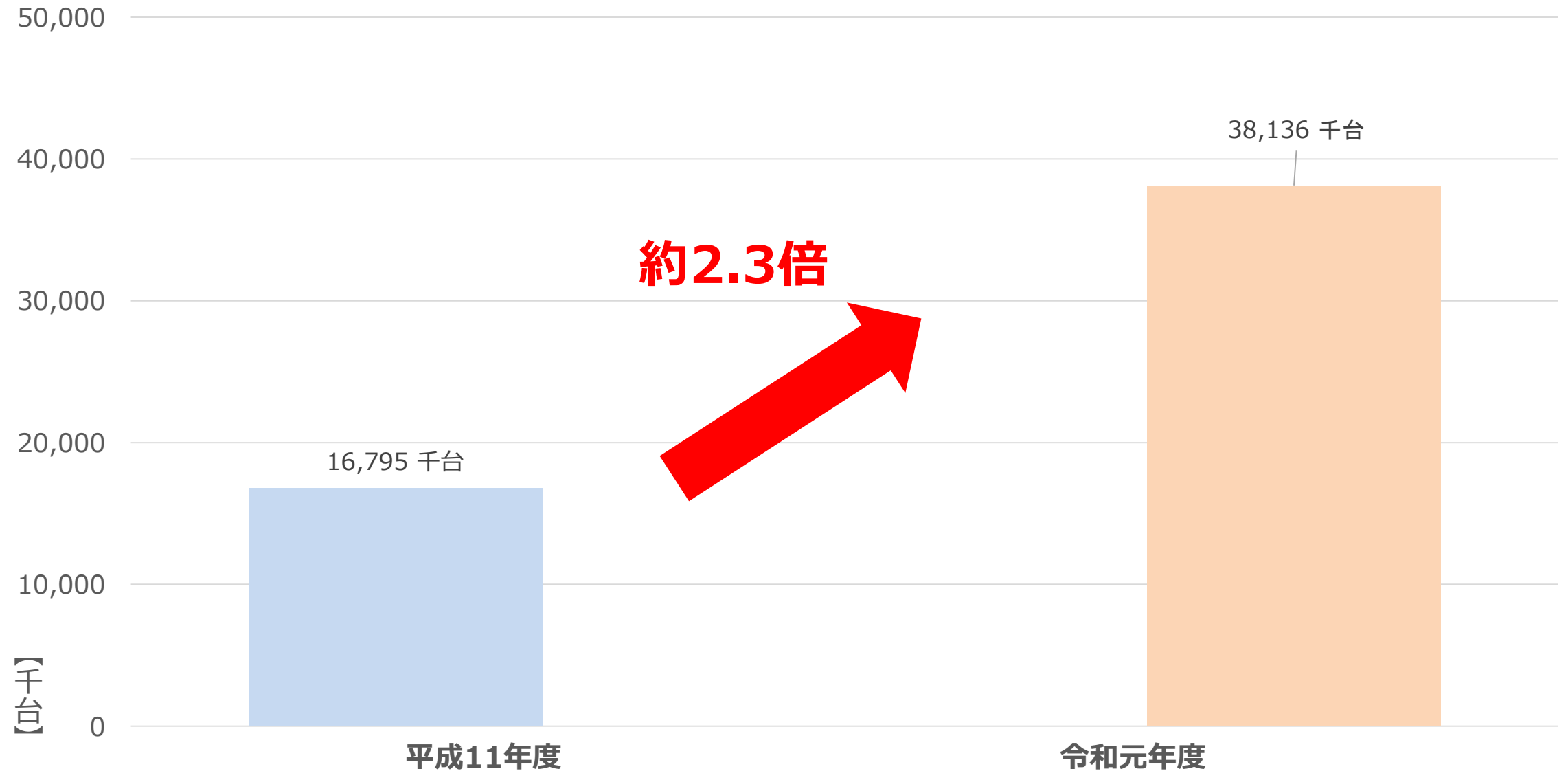
3

沖縄のナンバープレートにもなるので、沖縄を象徴するシーサーと首里城のイラストを用いました。左下には、首里城のある那覇市の花ブーゲンビリアを入れています。遠くからでも首里城の全体像が把握でき、ナンバーの視認性は損なわないように工夫しています。

沖縄自動車道の E T Cの利用促進について

沖縄自動車道における交通量の推移

出典：NEXCO西日本データ



沖縄自動車道における現状について (ETC利用率が低いことによる主な課題)

料金所渋滞

出典：NEXCO西日本データ

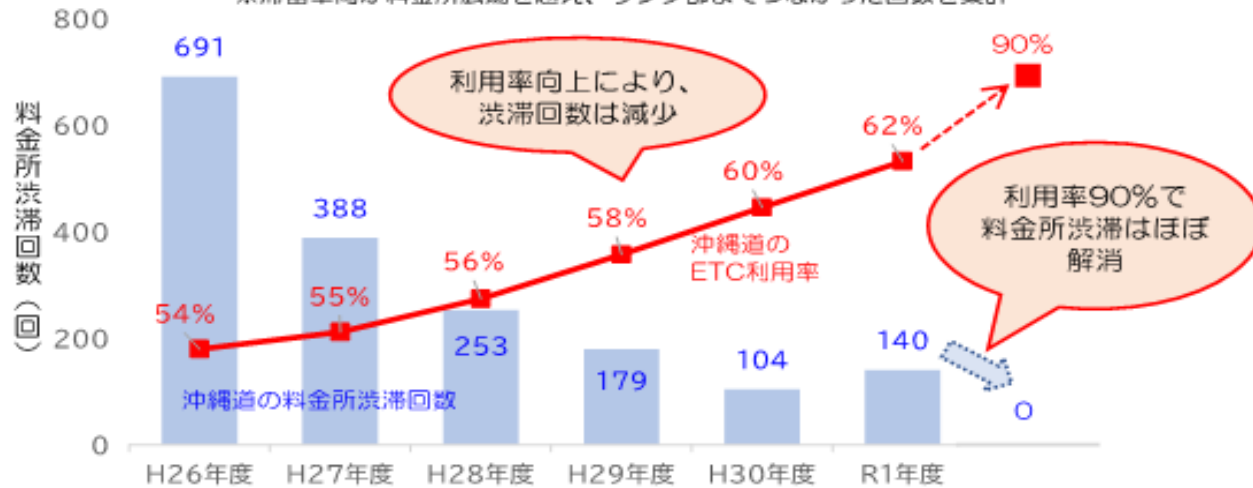
- 沖縄道における料金所での渋滞は、**年間140回程度**発生しています。(※料金所が原因の渋滞)
- インターチェンジのランプ等での追突事故件数は、全国平均に比べ**約2.7倍**発生しています。



- 仮にETC普及率が90%になれば、**料金所渋滞はほぼ解消の見通し**です。
- 料金所における渋滞解消により**事故減少にも効果**が期待されます。

沖縄道のETC利用率と料金所渋滞回数※推移

※滞留車両が料金所広場を越え、ランプ部までつながった回数を集計



沖縄道のランプ等での追突事故※件数

※R1における、ICランプ部・料金所広場での追突事故を集計



西原ICにおける出口渋滞状況



料金所渋滞での追突事故事例 (西原IC)

ETC専用化等による料金所の キャッシュレス化・タッチレス化について

出典：国土交通省



高速道路会社6社同時発表

令和2年12月17日

道路局高速道路課

ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化について ～都市部は5年、地方部は10年程度での概成に向けたロードマップの策定～

令和2年9月25日に発表された社会資本整備審議会国土幹線道路部会の『「持続可能な国土幹線道路システムの構築に向けた取組」中間とりまとめ』において、導入手順や概成目標時期を明示したロードマップを策定し、料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を計画的に推進すべきであると示されたことを踏まえ、各高速道路会社のETC専用化等に向けたロードマップを策定しました。

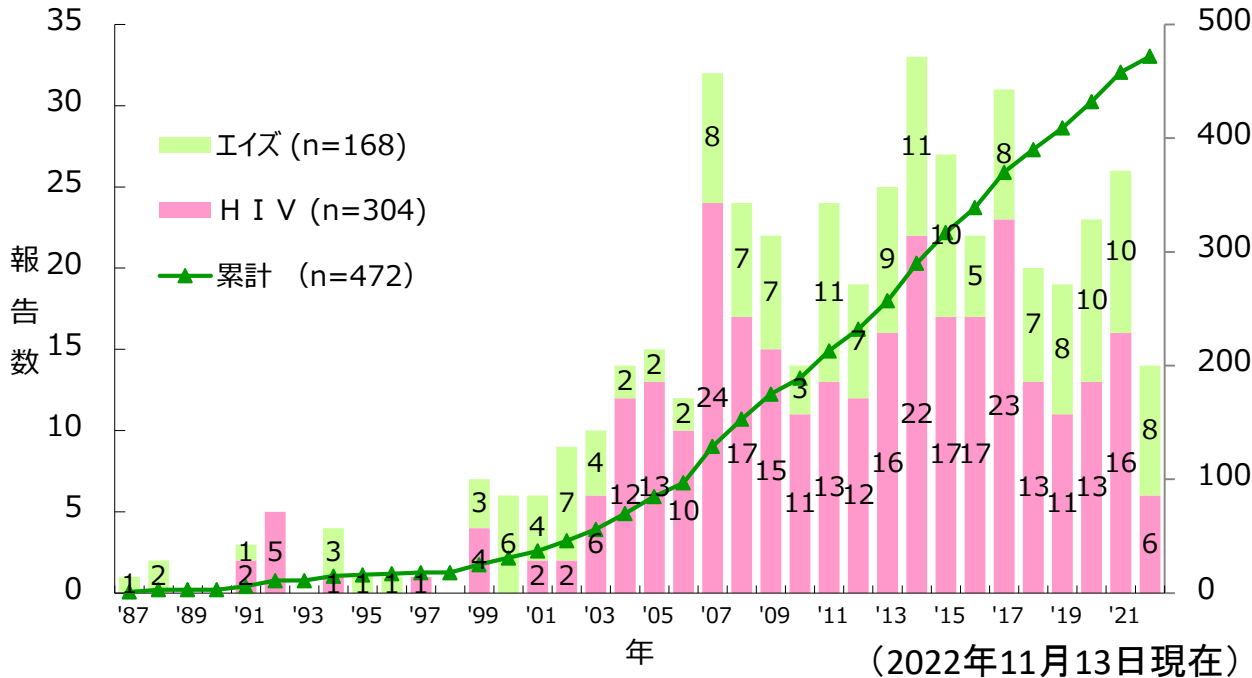
ETC専用化等のロードマップについて

地方部

	料金所数 (※2)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	...	2030年度頃 (R12年度頃)
NEXCO 3社・ 本四高速	N東:331 N中:179 N西:339 本四:34	導入準備 (※3)			数箇所導入 ⇒ 運用状況や各地域の特性等を 考慮しつつ順次拡大					全線

県内のHIV/エイズ及び梅毒の感染状況について

HIV感染者/エイズ患者発生状況



- ・令和3年はHIV感染者16名、エイズ患者10名の報告
- ・令和4年は11月13日現在でHIV感染者6名、エイズ患者8名の報告

令和3年(2021年) 新規HIV感染者/エイズ患者報告数 (上位10位の自治体)

a. HIV感染者上位自治体

順位	自治体	報告数	順位	自治体	人口10万人対
1	東京都	294	1	東京都	2.10
2	大阪府	82	2	沖縄県	1.10
3	愛知県	58	3	大阪府	0.93
4	神奈川県	44	4	愛知県	0.77
5	福岡県	30	5	佐賀県	0.74
6	兵庫県	23	6	福岡県	0.59
7	北海道	19	7	香川県	0.53
8	千葉県	17	8	群馬県	0.52
8	静岡県	17	9	神奈川県	0.48
10	埼玉県	16	10	静岡県	0.47
10	沖縄県	16			

(全国2位)

b. エイズ患者上位自治体

順位	自治体	報告数	順位	自治体	人口10万人対
1	東京都	63	1	沖縄県	0.68
2	愛知県	30	2	福岡県	0.49
3	福岡県	25	3	岐阜県	0.46
4	大阪府	24	4	東京都	0.45
5	神奈川県	23	5	徳島県	0.42
6	千葉県	14	6	愛知県	0.40
7	埼玉県	12	7	佐賀県	0.37
8	沖縄県	10	8	大分県	0.36
9	岐阜県	9	9	青森県	0.39
10	北海道	8	10	岡山県	0.32
10	兵庫県	8			

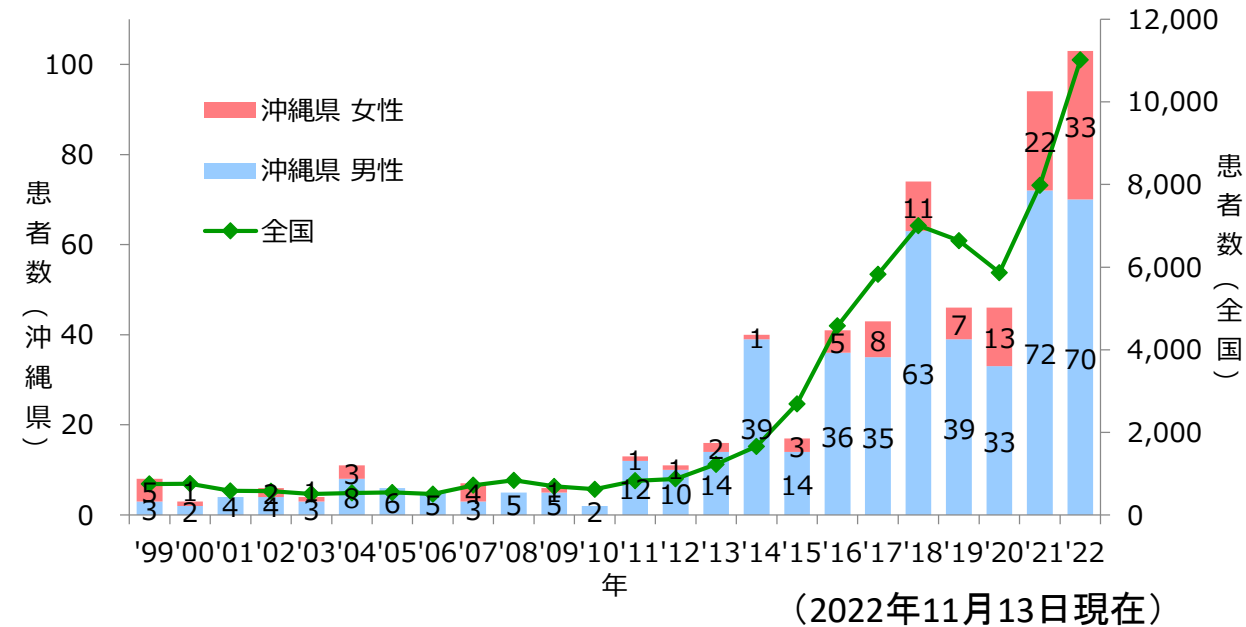
(全国1位)

出典：令和3年(2021) エイズ発生動向 (厚生労働省エイズ動向委員会)



県内のHIV/エイズ及び梅毒の感染状況について

梅毒患者発生状況



県内保健所での検査数の推移

年次	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
HIV	2,271	2,143	2,113	447	60	117
梅毒	2,074	2,066	2,060	434	58	95

(令和4年10月末現在)

- ・例年2,000件を超える検査を実施していたが、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症への業務対応のため大部分の期間休止
- ・令和4年10月からは順次再開

- ・県内では、令和3年は統計を取り始めた平成11年(1999年)以降、過去最多となる94名の報告
- ・令和4年は11月13日現在で103名の報告があり、2年連続で過去最多を更新
- ・全国でも令和3年以降は増加傾向
(令和3年7,978名、令和4年11月13日現在11,018名)



県内のHIV/エイズ及び梅毒の感染状況について

【県の対策】

目的:HIV感染者及び梅毒患者の早期発見・早期治療

実施内容

- ・HIV等外来検査を実施する医療機関の拡充
⇒ 令和4年度は2医療機関が追加
8医療機関で検査が可能
- ・HIV等外来検査設置4医療機関でのHIV及び梅毒の委託検査(11月15日～12月15日)
⇒ 通常よりも安価(500円)で匿名による検査が可能
最大で256人の検査を実施
- ・県保健所での検査再開
⇒ 令和4年10月から順次再開
12月1日のエイズデーを中心にHIV及び梅毒等検査を拡充して実施予定

